

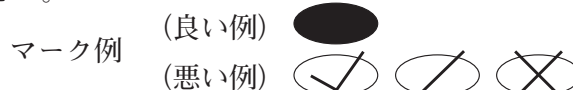
令和 8 年度（令和 7 年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

高等学校 福祉

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は 2 枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2 枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HB の鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

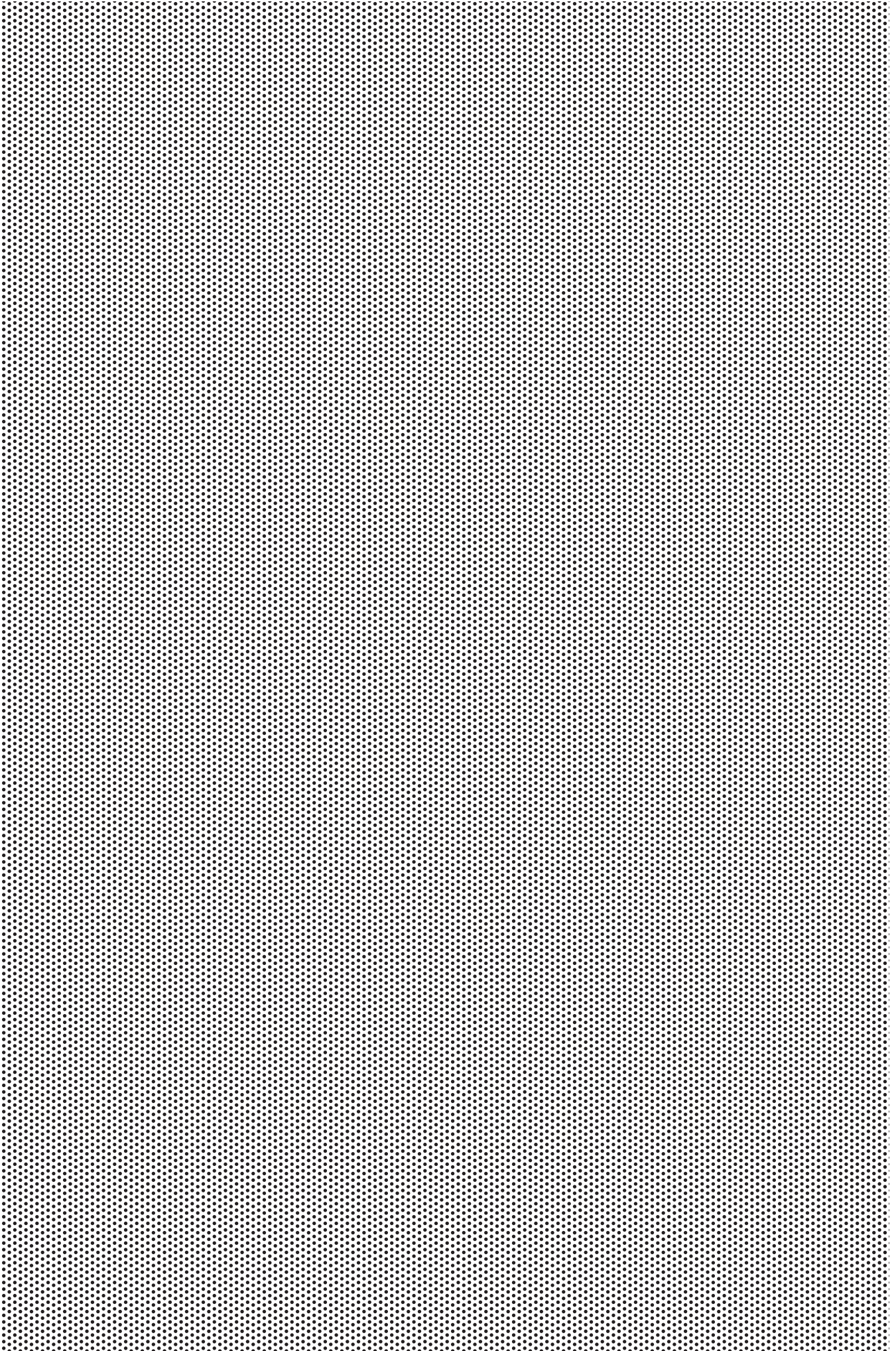
- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●1	○1	○1	○1	○1
○2	●2	○2	○2	○2
○3	○3	●3	○3	○3
○4	○4	○4	●4	○4
○5	○5	○5	○5	●5

記入例

（受審番号 1 2 3 4 5 の場合）

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、**本冊子の裏表紙**の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



第1問 社会福祉基礎に関して、下の問いに答えなさい。

1 社会福祉の理念と意義については、日本国憲法第3章で国民の権利及び義務として規定されている。次の(1)・(2)の ・ に当てはまる最も適切なものを、下のa～eから一つずつ選びなさい。

(1) 第13条 すべて国民は、 として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

(2) 第25条 すべて国民は、健康で な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

a 人間 b 文化的 c 基本的 d 個人 e 社会的

2 地域包括ケアシステムを機能させるための4つの支えあい当てはまらないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 自助 = 自分のことは自分でする
- b 互助 = 住民同士の助けあい活動・ボランティア活動
- c 共助 = 社会保険制度による給付・サービス
- d 公助 = 生活保護や権利擁護事業など税を財源とする社会福祉事業
- e 介助 = そばにあって起居・動作などを助けること、また、助けとなること

3 ロボット技術の介護利用における重点分野として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

a 移乗支援 b 排泄支援 c 食事支援 d 入浴支援 e 介護業務支援

4 1897年にキングスレー館を設立したのは誰か、次のa～eから一つ選びなさい。

a 石井十次 b 片山潜 c 留岡幸助 d 野口幽香 e 石井亮一

5 福祉六法の組み合わせとして誤っているものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

カ

- a 1960年 = 老人福祉法
- b 1960年 = 精神薄弱者福祉法
- c 1947年 = 児童福祉法
- d 1949年 = 身体障害者福祉法
- e 1964年 = 母子福祉法

6 児童虐待の種類別相談件数について、厚生労働省「福祉行政報告例の概況」（2019年度）によると、193,780件となっている。そのうち、ネグレクトの件数として適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

キ

- a 109,118件 b 49,240件 c 33,345件 d 2,077件 e 1,500件

7 生活保護の8種類の扶助のうち、原則、現物給付されるものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

ク

- a 住宅扶助 b 生業扶助 c 介護扶助 d 教育扶助 e 生活扶助

第2問

1 介護福祉基礎に関して、下の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、精神障害者保健福祉手帳について述べたものである。文中の に当てはまる最も適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

統合失調症などの精神障害を有する人は、精神障害者保健福祉手帳の交付を市町村に申請することができる。

手帳の所持者は、交通機関の運賃割引・減免や税金の控除・減免を受けることができる。更新は ごとで、知的障害者は対象とならない。

a 1年 b 2年 c 3年 d 4年 e 5年

- (2) 家族介護者の負担軽減をはかり、休息をとれるようにする支援として最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

a ホームヘルプサービス b ターミナルケア c インフォーマルサービス
d レスパイトケア e グリーフケア

- (3) 次の①～⑦は、日本介護福祉士会倫理綱領の7項目である。 ～ に当てはまる最も適切なものを、下の a～e から一つずつ選びなさい。

- ① 支援
② 専門的サービスの提供
③ の保護
④ 総合的サービスの提供と積極的な連携、協力
⑤ 利用者ニーズの代弁
⑥ の推進
⑦ 後継者の育成

a プライバシー b 地域福祉 c 家族のニーズ
d 多職種 e 利用者本位、自立

- (4) 次の介護場面におけるプライバシー保護の事例として最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。 カ

- a 利用者の個人ファイルを閲覧しやすいように机の上に置いたままにした。
- b 利用者または家族の許可なく、施設の広報誌に写真を載せた。
- c ウイルス管理をしているパソコンを使用している。
- d ファックスやメールで、利用者の個人名がわかるものを送った。
- e 利用者の家族との会話のメモは個人情報にあたらないため、シュレッダーにかけずに捨てた。

- (5) 事故予防の対応策について、キ～ケに当てはまる最も適切なものを、下の a～e から一つずつ選びなさい。

事故対策を検討するに当たっては、利用者により身体状況や精神状況、また居室などの物理的環境に相違があるため、画一的な対策を当てはめるのではなく、個別の対策を検討する必要がある。また、対応策を検討する際は、キについても考慮する必要がある。介護従事者の不適切な対応が事故を招く恐れがあるため、クやアクシデント発生時のケをはかるなど、さまざまな側面から対応策を検討する。

- a マニュアルの整備
- b ダメージの軽減化
- c ヒューマンエラー
- d ヒヤリハット
- e ハインリッヒの法則

2 生活支援技術に関して、下の問いに答えなさい。

- (1) 入浴の介護、全身清拭について、その説明が最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a お湯の温熱により末梢血管が拡張し、血流が行きわたる一方で、静水圧がかかる
と血液環流が増加するため、血圧が安定する。
- b 入浴中に水分が失われることはないため、入浴後の水分摂取は必要ない。
- c 腹部を清拭する際は、腸の方向にそうよう、「の」の字を描くように拭くとよい。
- d 足浴で、麻痺がある場合は、麻痺がある側から入れ温度を確認する。
- e 顔の清拭は、耳介→頬→あご→口→鼻→額→目の順に拭く。

- (2) インフラストラクチャーについての組み合わせが誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 生活の基盤となる施設 = 上下水道
- b 産業の基盤となる施設 = 鉄道
- c 生活の基盤となる施設 = 学校
- d 産業の基盤となる施設 = 港湾
- e 生活の基盤となる施設 = 公園

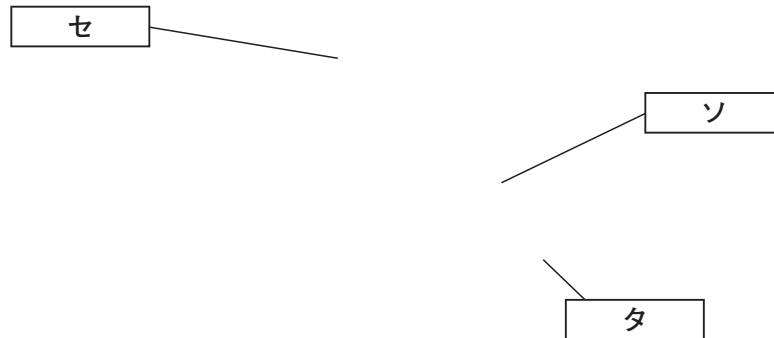
- (3) ヒートショックが原因で起こる健康被害について、誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 失神 b 心筋梗塞 c 不整脈 d 浮腫 e 脳梗塞

- (4) 車いすでの移動支援について、その説明が最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 段差を上りこえるときは、段差に対して平行になるように近づく。
- b 段差を下りこえるときは、段差が近づいたら、後ろ向きになりキャスターを上げる。
- c 急な上り坂では、前向きにゆっくり上る。
- d 急な下り坂では、前向きになり、速度を調節しながらゆっくり下る。
- e でこぼこ・砂利道では、ハンドルを押し込んで大車輪を上げ、キャスターで前進する。

- (5) 車いすの部位名称について、～に当てはまる最も適切なものを、下の a～e から一つずつ選びなさい。



- a フットサポート b キャスター c シート d バックサポート
e レッグサポート

- (6) 入浴支援の方法について誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 脱衣室と浴室の温度差をなくし、寒くないように暖めておく。
b 衣類の着脱時などに休憩ができるように、脱衣室には安定した椅子を用意する。
c 支援の際に浴槽に足を入れることがあるため、足を石けんと流水で洗い流し、清潔にする。
d 発汗に備えて、介護従事者も水分補給をする。
e 脱衣室を開けた際に外から見えるように配慮する。

- (7) 食事支援のポイントについて誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a あごをあげた状態で咀嚼しているか注意する。
b 食事をとることを説明し同意を得る。
c 最初にお茶や汁物を飲んでもらう。
d 利用者の希望に合わせて食べ物を口に入れる。
e 片麻痺がある場合、健側の口角から食べ物を入れる。

3 介護過程に関して、下の問いに答えなさい。

(1) 介護過程の目的・基本視点について、最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 利用者の意思を尊重するより、介護者の考えが優先される。
- b 生活課題は個別的で多様な複合的側面を持っているため、多職種連携が必要である。
- c 介護記録やカンファレンスは、介護過程の主観性を保つ大切な役割を持っている。
- d 生活機能の障害などへの支援のみを目的としている。
- e 人権保障につながる抽象的な援助方法を探ることが大切である。

(2) 介護職の情報収集について誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 直接的な情報とは、主に利用者本人から直接得られる情報のこと。
- b 間接的な情報とは、主に利用者本人以外から得られる情報のこと。
- c 情報収集手段の面接とは、利用者本人や本人以外の人との間接的な対話を通じて情報を得る方法のこと。
- d 情報収集手段の観察とは、観察者がみずからの五感や計測機器などを活用して情報を得る方法のこと。
- e 資料による情報収集とは、具体的には既存の記録物や資料を読んで情報を得る方法のこと。

(3) アセスメントを行うために必要なICFの構成要素について、最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 健康状態 = 生理的機能全般の状態やはたらき、身体的機能全般の状態やはたらきを表す。
- b 心身機能・身体構造 = 疾病やからだの変調、けが、妊娠、高齢、ストレスなど、疾病に加えて心身の状態も含まれる。
- c 活動および参加 = 人々の生活における、物的環境、人的環境、自然および制度環境を表す。
- d 環境因子 = 日常生活全般の個人活動、実社会および日常生活におけるさまざまな場面への参加や役割を表す。
- e 個人因子 = これまで培ってきた価値観や性格など、個人の個性を表す。

- (4) 次の食事支援についての事例を読んで、最も適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

重度の脳性麻痺により重度の身体障害のある F さん（25歳，女性）は，座位バランスが悪く，リクライニング式の車椅子を使用している。咀嚼機能にも支障をきたしており，食事形態は極刻みであるが，最近，かまずに飲み込んでしまうため，せき込みやむせが多くなった。F さんは，おしゃれと食べることへの関心が高く，テレビや雑誌を見て流行を確認している。

- a セき込みやむせにより，他の利用者の食事への影響が考えられるので，食事の席を1人席に変更する。
- b F さんに食べたいものや関心のあるものを聞き，エプロンやおしぼりなどに好みを取り入れる。
- c ベッド上での食事介助に変更し，ゆっくり食事ができるようにする。
- d かみにくい食材やむせやすいものはF さんに提供しないよう，介助の際に取り除く。
- e 食事形態をミキサー食に変更できないか，栄養士と相談する。

- (5) 次の事例を読んで，介護職の声掛けとして最も適切なものを，下の a～e から一つ選びなさい。

C さん（70歳，男性）は，双極性感情障害と診断されており，入退院を繰り返してきた。最近，食欲が落ちていて食事をしなかったり，うつ状態になったりで，一日中部屋の中で過ごしている。また，介護職に「夜に眠れない」などの症状を訴えてきた。

- a 「体によくないので，食事はしっかり食べましょう」
 - b 「ずっと部屋にこもっているのはよくないので，外に行きましょう」
 - c 「眠れないのはつらいですね」
 - d 「早く元気なときのC さんに戻ってくださいね」
 - e 「入院をして，治療した方がよいですね」
- (6) 高知県が策定した「日本一の健康長寿県構想」第5期において，高知県の高齢人口（65歳以上）の割合が示されている。令和22（2040）年の割合として最も適切なものを，次の a～e から一つ選びなさい。

- a 35.5% b 37.2% c 38.5% d 39.7% e 42.5%

(7) 介護計画の評価の視点について誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 課題の優先順位は正しかったか。
- b 目標に無理はなかったか。
- c 方法の選択において個別性の尊重ができたか。
- d 予測できない事態はなかったか。
- e 施設長と家族の意識の差異はなかったか。

第3問 ころとからだの理解に関して、下の問いに答えなさい。

- 1 加齢による認知・知的機能の変化と日常生活への影響について、に入る最も適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

視力や聴力の低下により感覚器からの情報量が減少，刺激に対する反応に時間がかかる。また，は衰えやすい。流動性能力は低下し，結晶性能力はゆるやかに低下する。

- a 意味記憶 b エピソード記憶 c ユマニチュード d 知恵
e 手続き記憶

- 2 4つの社会的障壁に当てはまらないものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a 物理的バリア b 環境的バリア c 制度的バリア
d 情動的バリア e 意識的バリア

- 3 次の文のに入る最も適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

インクルージョンは，2006年12月の国連総会で採択された障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）の理念のなかにも示されており，「の尊重」が提唱されている。条約のスローガン「Nothing about us without us（私たち抜きに私たちのことを決めないで）」に見られるように，条約の制定過程においても障害のある当事者が参加したことに特徴がある。

- a 多様性 b 画一性 c 感受性 d 平等性 e 自主性

4 全身性廃用症候群の諸症状に含まれないものについて最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 心肺機能低下 b 知的活動低下 c 易疲労性 d 消化器機能低下
e 起立性低血圧

5 ひもときシートにおける8つの背景要因の説明の

- ① 病気の影響や、飲んでいる薬の副作用による影響
② 身体的痛み、便秘・不眠・空腹などの不調による影響
③ などの心理的背景による影響
④ 音・光・味・におい・寒暖等の五感への刺激や、苦痛を与えていそうな環境の影響
⑤ 家族や援助者など、周囲の人のかかわり方や態度による影響

- a 住まい・器具・物品 b 好き・得意・いい人 c 悲しみ・怒り・さびしさ
d 要望・障害程度・能力 e 生活歴・習慣・なじみ

6 次の文の

認知機能が低下すると、外界の刺激の受け取り方と反応のしかたが、健康な時と異なる。このため、ものがうまくいかず対応できなくなる。認知機能の低下により生活で失敗が増えると、ひっこみ思案になり、親しい人とも会わず家に閉じこもったままになる。また、家族から失敗をとがめられ、役割を奪われることも増えてくるため、不安や が募っていく。

- a 不快感 b 焦燥感 c 不眠 d 罪悪感 e 緊張感

7 エリクソンによる心理社会的発達段階における、心理社会的危機の組み合わせとして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 乳 児 期 = 信 頼 対 不 信
b 幼児期前期 = 自 律 対 疑 惑
c 児 童 期 = 自 主 性 対 罪 悪 感
d 青 年 期 = 自己同一性 対 同一性拡散
e 成年期後期 = 統 合 性 対 絶 望

- a 家族との連絡記録とは、利用者の家族と情報を共有するために用いる記録である。
- b フェイスシートとは、利用者の名前、年齢、性別、住所などの基本情報などを記載するものである。
- c 介護記録とは、介護支援専門員によって作成された個別の介護サービス計画である。
- d 日常生活チェック表とは、それぞれのケアの実施の有無やその状況を簡潔に記録するもので、利用者の状況を一目で把握することができる。
- e 業務記録・申し送り記録は、日勤と夜勤の相互間の情報伝達やサービス提供の実施報告に必要な記録。特別なケアや変更事項、入退所の状況、行った行事やその結果などについて要約した内容を記録し情報を共有する。

- 4 次の事例を読んで、最も適切なコミュニケーションを、下のa～eから一つ選びなさい。エ

Bさん（女性42歳）

白杖をついて一人で街を歩けますが、バスやタクシーを待つ時、人の後ろに並ぶのがとても苦手です。最後に並んでいる人が分からず、列の間に入ったり、うろうろしてしまいます。

また、電車やバスに乗った時、空席を探すのが苦手です。もし席が空いていたら、簡単に座れるはずなのにと考えます。

街中を歩いていると、子どもがお母さんに「あの人どうして棒を持っているの？」と聞き、お母さんは「見ちゃだめよ」と子どもに言っていました。ひとりの大人として見て欲しいのに、とても悲しくなりました。

- a 並ぶ場所はどこではないよと声掛けした。
- b Bさんを見かけたので「私だれだかわかる？」と呼び止めた。
- c お母さんに言われて悲しいですねと慰めた。
- d あそこが空いてますよと声掛けした。
- e Bさんを駅で案内するため、自分の名前を言ってどうしたらよいか聞いた。

- 5 次の失語症のある人のタイプに応じたコミュニケーションのポイント説明文の正誤を考え、その組み合わせが最も適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。オ

- ① 日常会話程度が可能な場合は、相手の発言を待たず、先回りする姿勢が大切である。
- ② ジェスチャーを活用せず、言葉だけで十分、コミュニケーションをとることができる。
- ③ 簡単なやりとりが可能な場合は、イラストや図などが描かれたコミュニケーションノートやコミュニケーションボードを活用する。
- ④ 「はい」「いいえ」応答ができる場合は、「はい」「いいえ」で対応できるような聞き方をする。
- ⑤ 「はい」「いいえ」応答が不完全な場合は、うなずきや声のイントネーションなど、言葉以外の「はい」「いいえ」の表現手段で伝える。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | ① | ○ | ② | ○ | ③ | ○ | ④ | ○ | ⑤ | ○ |
| b | ① | × | ② | × | ③ | ○ | ④ | ○ | ⑤ | ○ |
| c | ① | × | ② | ○ | ③ | ○ | ④ | ○ | ⑤ | ○ |
| d | ① | ○ | ② | × | ③ | × | ④ | ○ | ⑤ | × |
| e | ① | ○ | ② | ○ | ③ | × | ④ | × | ⑤ | × |

第5問 学習指導要領に関して、下の問いに答えなさい。

- 1 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 第3節 福祉科の目標について、
～に該当する最も適切なものを、下のa～eから一つずつ選びなさい。

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に に取り組む態度を養う。

- a 合理的かつ創造的 b 実践的・体験的 c 体系的・系統的
 d 資質・能力 e 主体的かつ協働的

- 2 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 第3章 第1節 指導計画の作成に当たっての配慮事項 の一部である。・に該当する最も適切なものを、下のa～eから一つずつ選びなさい。

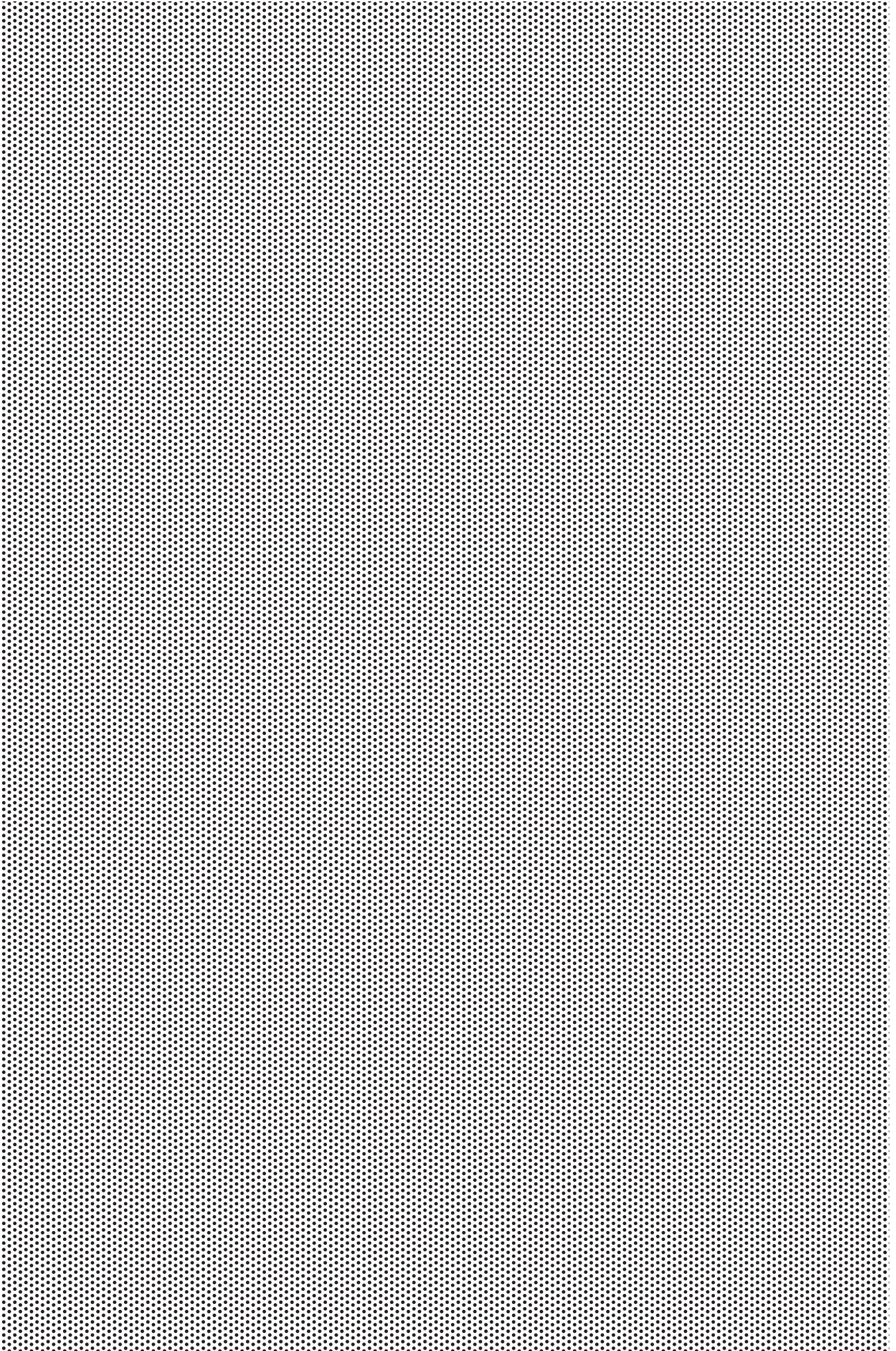
2 原則履修科目

福祉に関する学科における原則履修科目は、従前と同様、福祉に関する学習の基礎的科目である「社会福祉基礎」と福祉に関する各科目で習得した知識と技術の深化・統合化をねらいとする科目である「」の2科目としている。

5 地域や産業界等との連携・交流

地域や福祉施設、産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

- a ボランティア活動 b 就業体験活動 c 介護総合演習
 d 生活支援技術 e 介護過程



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の **ア**、**イウ** などには、数字 (0～9)、小数点 (.), 符号 (－, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが、これらのいずれかに対応します。下の (例1) ～ (例3) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) **アイ** に 12 と答えたい場合

ア	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±
イ	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±

(例2) **ウ** に b と答えたい場合

ウ	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

(例3) **エオ**、**カキ** に 34.56 と答えたい場合

エ	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±
オ	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±
カ	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input checked="" type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±
キ	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input checked="" type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> －	<input type="radio"/> ±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。
監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。